

これだけは注意してください！

1. 突然訪問しない

福祉施設は、そこを利用する人にとっては「生活の場」や「仕事の場」です。訪問の前に必ず連絡を入れ、注意することなどを確認しましょう。相手方への配慮を忘れずに。また、一度に訪問できる人数も確認しましょう。

2. 直前に講師依頼しない

当事者やボランティアは、仕事や他の活動をしている方がたくさんいます。講師としてお招きするには、相手の方の都合にあわせ余裕をもって相談してください。

3. 固定したイメージを持たない

例えば、「視覚障害理解＝点字学習」「肢体不自由理解＝車いす体験」ではありません。学ぶ方法は色々あります。まずは何を目的にするかをはっきりとさせ、そのために必要な方法を考えましょう。

4. 自分の「思い」を優先しない

地域には「福祉」にたずさわっている人がたくさんいます。よりよい学習のためにも相談し、協力していきましょう。

5. 「福祉＝かわいそうな人たち」だと思わない

福祉の学習の目的は、「共に生きる社会」をつくること。「福祉の対象になる人はかわいそう」という偏見を植え付けないために、細心の注意が必要です。

【区社協・市社協連絡先】

区名	住所・電話番号・FAX
鶴見	〒230-0051 鶴見区鶴見中央 4-37-37 リオベルデ鶴見 2F
	TEL 504-5619 FAX 504-5616
神奈川	〒221-0825 神奈川区反町 1-8-4 「はーと友 神奈川」内
	TEL 311-2014 FAX 313-2420
西	〒220-0011 西区高島 2-7-1 ファーストプレイス横浜 3階
	TEL 450-5005 FAX 451-3131
中	〒231-0023 中区山下町 2番地 産業貿易センタービル 4階
	TEL 681-6664 FAX 641-6078
南	〒232-0024 南区浦舟町 3-4 6 浦舟複合福祉施設 8階
	TEL 260-2510 FAX 251-3264
港南	〒233-0003 港南区港南 4-2-8 3階
	TEL 841-0256 FAX 846-4117
保土ヶ谷	〒240-0001 保土ヶ谷区川辺町 5-1 1 かるがも 3階
	TEL 341-9876 FAX 334-5805
旭	〒241-0022 旭区鶴ヶ峰 1-6-3 5 「ばれっと旭」内
	TEL 392-1123 FAX 392-0222
磯子	〒235-0016 磯子区磯子 3-1-4 1 磯子センター 5階
	TEL 751-0739 FAX 751-8608
金沢	〒236-0021 金沢区泥亀 1-2 1-5 「いきいきセンター金沢」内
	TEL 788-6080 FAX 784-9011
港北	〒222-0032 港北区大豆戸町 1 3-1 吉田ビル 2 0 6
	TEL 547-2324 FAX 531-9561
緑	〒226-0011 緑区中山町 4 1 3-4 「ハーモニーみどり」内
	TEL 931-2478 FAX 934-4355
青葉	〒225-0024 青葉区市が尾町 1 1 6 9-2 2
	TEL 972-8836 FAX 972-7519
都筑	〒224-0006 都筑区荏田東 4-1 0-3 港北ニュータウンまちづくり館内 かけはし都筑
	TEL 943-4058 FAX 943-1863
戸塚	〒244-0003 戸塚区戸塚町 1 6 7-2 5 1階
	TEL 866-8434 FAX 862-5890
栄	〒247-0005 栄区桂町 2 7 9-2 9
	TEL 894-8521 FAX 892-8974
泉	〒245-0016 泉区和泉町 3 5 4 0 泉ふれあいホーム
	TEL 802-2150 FAX 804-6042
瀬谷	〒246-0021 瀬谷区二ツ橋町 4 6 9 「せやまるふれあい館」内
	TEL 361-2117 FAX 361-2328
横浜市	〒231-8482 中区桜木町 1-1 横浜市健康福祉総合センター 8階
	TEL 201-8620 FAX 201-1620

社会福祉協会は福祉の学習を



横浜市社会福祉協議会
横浜市18区社会福祉協議会



地域にはどんな福祉施設があるの？
どんなボランティアさんがいるの？



区社会福祉協議会(区社協)は、福祉の施設・当事者団体・ボランティアグループ・地区社協など、さまざまな団体による協議会です。ご相談に応じ、講師や体験先をご紹介します。

どんなプログラムを組めば「福祉」がうまく伝わるのかな？
そもそも「福祉」って何？

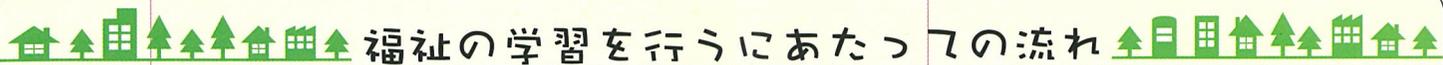
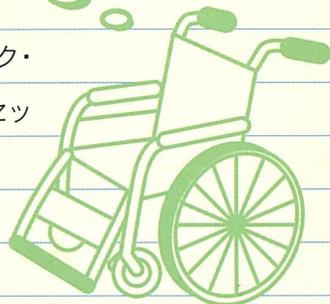


区社協では、福祉の学習の相談・企画調整を行っています。

また、先生方が福祉について学ばれる場合にもご相談ください。

体験学習に必要な機材はどこで借りられるの？

区社協では、車いす・アイマスク・点字盤・白杖・高齢者擬似体験セット等の貸出を行っています。



福祉の学習を行うにあたっての流れ



まずはイメージを描く

何を目標にする？ 参加人数は？ 予算は？
いつ？ どのくらいの時間で？

- ★お気軽にご相談ください。
- ★候補日をいくつか用意して、遅くとも1ヵ月前にはご相談ください。
- ★体験プログラムには人数の限度があります。



じっくり相談(先生・講師・区社協で)

- ・プログラムの内容や事前準備
- ・当日の段取りの決定
- ・車いすなどの機材の手配
- ・講師への謝金や交通費、送り迎えの方法等の確認

- ★講師や機材等の調整がありますので、準備には余裕を持ってください。
- ★地域のボランティアや当事者の方にも協力をお願いすることができます。



事前準備・下見

- ・下見
- ・機材の受け渡し
- ・駐車場やトイレなどの確認



事前学習

- ★調べ学習をしたり、体験にあたっての気持ちの準備をする時間をもちましょう。



当日

- ★安全第一に！
見守り役は、保護者の方をお願いするのもひとつの方法です。
講師をお迎えするにあたり真剣に取り組んでください！



そして、継続する

- ★感想文やワークシートで振り返るとともに、一緒に学んだ仲間同士で意見を交換するなどして、学習を深めましょう。
- 疑問に残ったことは、自分たちでもっと深く調べたり、講師に再度聞いてみましょう。
- この学習をきっかけに地域との交流が深まるとよいですね。

